

# KAIT

2025  
春・夏号

No.209

Kanagawa Institute Of Technology [カイト]  
神奈川工科大学広報誌

## CONTENTS

- 1 2025年4月就任 井上哲理新学長インタビュー
- 3 日々の学生生活を支える学生サポート
- 5 KAIT 研究室訪問
- 7 海外研修・留学プログラム/KAIT学生のキャンパスライフ
- 9 学生の活躍/教員の活躍
- 11 News&Topics/着任の挨拶
- 13 大学からのお知らせ/2025年度学年暦
- 15 第3回リサーチデー開催



2025年4月就任

## 井上哲理新学長にお聞きしました。

今年4月、井上<sup>てつり</sup>哲理 教授(前副学長/ 情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科)が新学長に就任しました。任期中の4年間で、井上新学長が目指す方向性や取り組みについて伺いました。

このたび、4月より神奈川工科大学学長に就任いたしました。約30年前、着任した当時の本学は工学部5学科でしたが、今日では情報・健康医療分野を含む3学部10学科へと発展しました。その姿を私は一教員として見守ってまいりました。

この30年間、本学は日本社会と共に発展・拡張の時代を歩んでまいりましたが、これからは「持続可能性」が大学としても、社会全体としても重要な課題となります。

私たちは、創立以来変わらぬ「社会で活躍できる人材を育成する」という理念のもと、時代に即した教育と学生支援を一層充実させてまいります。

この使命を果たすため、教職員一同、力を合わせて取り組んでまいります。ご父母の皆様をはじめ多くの方々のご理解とご協力も不可欠です。今後とも本学の教育活動にお力添えいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

神奈川工科大学  
学長 井上哲理



## 今後取り組みたいこと

キャンパスのある厚木を活用した  
独自性が光る「選ばれる大学」へ

学長としての4年間で目指したいのは「選ばれる大学」の基盤をつくることです。受験生には魅力的な選択肢となり、卒業生が企業から評価され、選ばれる大学です。そのためには、他大学との違いを明確に打ち出し、本学の独自性を高めて「神奈川工科大学といえばこういう特色をもつ大学です」と説明できる大学にすることが必要不可欠です。

独自性を追求する上で、本学が位置する「厚木」という地域特性を最大限に活かしたいと考えています。厚木市やその周辺には多くの工業団地が集積し、多様な企業が活動しています。近年では、労働力確保の面で、海外からの人材も増えています。また、厚木近隣地域は少子高齢化が進んでいます。これらは、日本全体、ひいては世界各国が向き合わなくてはならない社会課題です。こうした日本の縮図ともいえる厚木地域は、これからの世界を生きていく学生たちが現実の社会課題に触れ、学ぶ上で適した環境といえます。教室での学びだけでなく、厚木や近隣地域の方々とも連携した教育が展開できるのではないかと期待しています。

「面倒見の良さ」を発展させ、  
より効果的な学生支援を実現します

本学の強みである「面倒見の良さ」をさらに発展させて、一層効果的な学生支援体制を構築したいと考えています。そのために、学生一人ひとりの人物像を把握するためのデータベースを充実させ、データに基づく支援ができるように、仕組みづくりとシステム構築を進めたいと思います。

私たちは「学生」と一括りにしてしまいがちですが、個性や背景は一人ひとり違います。たとえば、授業を欠席した学生にはそれぞれ異なる理由があるので、個々の事情を把握して、その学生に適した支援やサポートの必要性を強く感じています。授業、研究、課外活動を通じて、何かに強く興味や情熱を持つ学生も多数います。このような学生の好奇心や探究心を捉えて、その能力を発揮できるように個別に支援できる仕組みも作りたと思います。「選ばれる大学」になるために、学生の多様なニーズに応じた支援の実現を目指したいですね。

学生支援では、対面での支援はもちろんですが、スマートフォンを通じた支援・サービスも充実させたいと思います。スマートフォンは、学生が情報を得る主要な手段であると同時に、私たち大学側にとっても、学生の状況をリアルタイムで把握し、迅速かつ的確なサポートを提供するために不可欠なツールであると認識しています。

# Q1

## 30年間の学生たちの変化をどのように感じていますか？

私が着任した1990年代の本学は工学部の5学科だけで、所属した情報工学科も工学部の中にありました。世の中は製造業が好調で、当時は本学で学んだ学生の多くが、エンジニアとして機械、電気、化学系の関連企業へ就職していくのが一般的な流れでした。学生の進路が割と予想できた時代でした。そこから約30年が経過して、情報産業の急速な発展とともに社会構造は大きく変化しました。よく言えば選択肢が多い時代ですが、以前と比べて、将来像を描きにくい時代だなと、感じています。そのような中で、将来のことをしっかりと考えて、自分の道を模索する現在の学生たちは立派だと思います。

# Q2

## 変化が大きい時代を生き抜くために学生に身につけてほしいことは何でしょうか？

社会も人も変化して多様化・グローバル化が進んでいます。さまざまな価値観や考え方が混じり合ってきています。そうした中で、「自分はこれで良い」と凝り固まった考え方していると、かえって生きづらさを感じるようになると思います。そうならないために、まずは幅広く見識を深めてほしいと願っています。人と話をしたり、本を読んだり、インターネットで情報を得たりするなどして、自分とは異なる価値観や考え方にふれてください。また近場でもいいので旅に出るのも良いと思います。モノの新しい見方や考え方に出会えます。自分の考えは持ちつつも、他の考え方があることも知る、そういう機会を持つことが大切です。

# Q3

## 好きな言葉を教えてください

特定の言葉ではないのですが、「形あるものはいずれ崩れる」という世界観が好きです。古典でいうなら『方丈記』や『平家物語』の冒頭部分が好きです。何か行き詰まったときにふと思い出します。

# Q4

## 好きな事は何ですか？

旅行先で街を散策するのが好きです。史跡や観光スポットに行くのではなく、その街の生活感がある場所に行くのが好きです。例えば、パリでしたら、ルーブル美術館もよいですが、それよりも街中のカフェやブーランジェリー（パン屋）に入ったりする方が好きです。このような場所では日本人とフランス人の考え方の違いが分かっておもしろかったです。

<略歴>

- 1987年 早稲田大学理工学部応用物理学科卒業
- 1992年 早稲田大学大学院理工学研究科物理及応用物理学専攻  
博士後期課程単位取得
- 1997年 博士(工学)取得
- 1990年 早稲田大学人間科学部 助手
- 1993年 神奈川工科大学工学部情報工学科 助手
- 1999年 神奈川工科大学工学部情報工学科 専任講師
- 2000年 神奈川工科大学工学部情報ネットワーク工学科 助教授
- 2006年 神奈川工科大学情報学部情報ネットワーク・コミュニケーション学科 教授
- 2016年 学校法人幾徳学園 評議員
- 2019年 神奈川工科大学 副学長
- 2019年 学校法人幾徳学園 理事
- 2025年 神奈川工科大学 学長

井上学長は24年度まで学生指導を行っていました。▶





## 日々の学生生活を支える 学生サポート

本学では、学生が心身ともに健康で充実した学生生活を送ることができるよう、大学全体で協力をして、きめ細やかなサポートを行っています。

### みんなこんな時どうしてる？

最近、悩み事があって  
眠れない日が多い…。



単位が取れるか心配…。



将来のことがなんとなく  
不安…。



## 学生相談室

### 1人で悩まずに相談を。「心の成長」をサポートします！

学生相談室では、学生の皆さんが健やかな学生生活を送れるように、公認心理師・臨床心理士とメンタルヘルスアドバイザー（精神科医）がカウンセリングやグループ活動など幅広いメンタルケアを実施しています。

大学生の年代は、対人関係に過敏になったり、抑うつ的な感情や眠れなかったりということもよくあります。自分自身について考えたり、学業や経済的な不安で悩んだりもします。だから、「こんなことで学生相談室に行ってもいいのかな？」と思わずに、どんなときでも相談に来てください。たとえば、なんだか大学に行く気がおきない、やる気がおきない、人間関係に疲れてしまった、一人暮らしが寂しい、ジェンダーの悩みなど。最近は、オンライン上でのトラブルや悩みなども増えています。どんな内容であっても、悩んでいることには違いありません。相談室でお話した内容は、ご本人の了解なしに第三者へ話すことはありません。1人で来る勇気がでないときには、先生や友達、親御さんと一緒に来ていただいても結構です。相談内容に応じて、本人の了解を得た上で、学生サポート

室や健康管理室など、学内のさまざまな部署と連携して支援していきます。

また、学生相談室では、ご父母の皆さまからのご相談も受け付けています。電話やメール、zoomで、またご本人が来られないときには、親御さんだけでもご相談ください。



個室も完備されている学生相談室



### Information

開室日 月曜日～金曜日

\*長期休暇期間も開室

時間 9:00～17:30

場所 K2号館3階1306

TEL:046-291-3038

Mail:sodan@kait.jp

## 学生サポート室 (キャンパスライフ相談窓口・ 障害学生支援)

### 学生生活の充実に向けて全力でサポートします!

学生サポート室では、学生の皆さんが、より充実した大学生活が過ごせるように、**学修面、生活面のアドバイスを通じて学生生活をサポートしています。**たとえば、成績不振や勉強のスケジュール管理で困ったことはありませんか?私たちは困っていることを丁寧にお聞きして、その内容を整理し、一人ひとりに応じたアドバイスをしています。私たちは、学生さんが自立した行動ができるよう、主体性を育てていくような関わり方を心がけています。今後の学生生活に見通しを持ち、**一番はじめにすべき事は何か、これから何をすればよいのかを、一緒に整理しながら考え、自立した学修者としての成長をサポートしていきます。**

来室する学生さんは、単に「やる気が出ないからできない」ということだけでなく、学修面や生活面の悩みの背景に、心理面、健康面などの原因がある場合も多くあります。そのため私たちは、学生相談室や健康管理室、基礎教育支援センターなど、**他部署と連携して情報を共有しながら、その学生さんにとって一番良い支援を考え、大学生活を支えています。**支援の内容によって、担任や学科の先生、ご家族に支援の輪に入っていただくこともあります。また、ご家族からお子さんに関する心配ごとの相談も受け付けています。

学生サポート室には、障害学生支援のコーディネーターも在籍しており、障害のある学生さんへの合理的配慮やサポートに対応しています。



オープンな雰囲気学生サポート室



パーティションで仕切りられた相談ブース

#### Information

開室日 月曜日～金曜日

\*長期休暇期間も開室

時間 9:00～17:00

場所 K2号館 3階 1305

TEL:046-291-3106

Mail:support@kait.jp

### 基礎教育支援センター



基礎教育支援センターは、高校の学習範囲を大学内で学ぶことができるセンターで、全学生が予約なしで利用できます。対応しているのは、数学・物理・化学・生物・

英語といった基礎科目と文章の書き方です。**主に高校での学習範囲から専門基礎科目の入門部分までを、ベテラン教員が個別指導で丁寧にサポートしています。**

大学で学ぶ上で、高校での学習は重要な基礎となりますが、高校での履修の仕方は人それぞれですし、苦手な科目もあります。ここではそういった科目を、**個別で学べるので分かりやすく、大学での専門分野の学びが理解しやすくなります。**

#### Information

開室日 月曜日～金曜日

時間 11:00～18:00

場所 KAITホール2階

TEL:046-291-3259

Mail:su@ccml.kanagawa-it.ac.jp

### 学修面のサポートも 充実しています!

#### 先輩学生によるサポート KAIT Pia

情報学部棟1階の「KAIT Pia室」にて授業で分からない部分や勉強方法、学科のことなど「神奈川工科大学の学生なら当たり前のように誰でも支え合い助け合う」ことをモットーに、先輩学生がサポートを行っています。



# Hello, LAB!! KAIT 研究室訪問

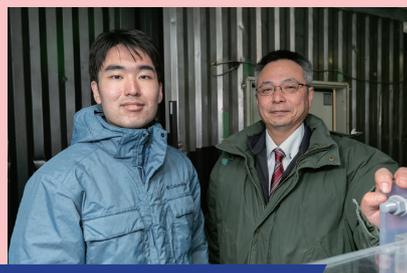


**吉田 龍平 さん**  
工学研究科 機械工学専攻  
博士前期課程2年 熱流体工学研究室

## 日本最高レベルの低温風洞で 着氷現象の実験に取り組んでいます。

発電用のガスタービンや航空機のエンジンなどで用いられる軸流圧縮機翼列の着氷現象について研究しています。着氷現象は気温が低い環境で空気中の水滴によって発生する現象で、翼についた氷が剥がれて後方の構造物に衝突すると大きな事故にもつながる危険な現象です。再現が難しい現象ですが、本学には日本最高レベルの低温風洞があるので、実験や検証ができています。

この研究で一番大変だったのは低温風洞の条件設定で、アメリカの連邦航空規則で定められた着氷実験の設定に合わせるまで1年半かかりました。条件が整ったら実験を一気に行うので、体力も精神力も必要な研究です。今取り組んでいる実験結果は、9月の「日本機械学会年次大会2025」で発表する予定です。今後は博士後期課程に進学して研究を継続し、研究職に就きたいと考えています。



## 指導教員 萩野 直人 准教授から

着氷現象の研究は、他大学ではシミュレーションで行われています。実際に実験をしているのは吉田さんだけなので、全国の中でも10本の指に入るぐらい、特に実験に関して深い知見をもっています。また、企業から依頼される着氷実験の研究も彼に手伝ってもらっています。実験は吉田さんがメインで行っているのですが、とても助かっています。



## クラシックギターの音色評価装置の 開発と表面板の構造についての研究

クラシックギターの音色の評価は聴く人の感覚で行われているため、初心者や未経験者には聞き分けが困難です。そこで誰でも手軽に音色を評価できるように音色評価装置の研究開発に取り組みました。奏法による音色の違いの分析では、普段からギターを演奏されている板子先生に2種類の奏法で演奏していただき、その音を測定してデータを解析しました。完成した音色評価装置は楽器作りなどでも活用していただけなのではと考えています。さらに現在はギターの構造に着目して、表面板を薄くして音色を改善する研究に取り組んでいます。研究活動を通して、研究は一人で完結できるものではなく、多くの人の関わりの中で進めていくものだと実感しました。5月に「サウンドメッセ in OSAKA 2025」に出展し、7月には2つの国際会議での研究発表を予定しています。

## 指導教員 板子 一隆 教授から

数田さんは、学会や展示会では成果発表を通してコミュニケーション力を大きく向上させました。また、企業との共同開発研究では、新たな発見や目標を達成した際の充実感を経験できたのではないかと思います。これからも音楽音響工学分野をより深く掘り下げて学び、新たな創造を生む自律した研究者になってくれることを願っています。



**数田 梨央 さん**  
工学研究科 電気電子工学専攻  
博士前期課程1年  
パワーエレクトロニクス研究室



**伊藤 司 さん**  
工学研究科 応用化学・バイオサイエンス専攻  
博士前期課程1年 無機材料化学研究室

## 原油から大気汚染につながる物質を 除去する安全な脱硫方法の研究

チタニア担持銀ナノ粒子\*を触媒として、含硫黄芳香族化合物を酸化反応によって除去する「脱硫」の研究をしています。脱硫は、原油からガソリンや軽油などを生産する際に、大気汚染につながる硫黄分を除去するために行われています。現在は「水素化脱硫」が主流ですが、高価な水素を使用して高温高压条件で行われています。一方、私が研究している方法では、触媒に使用するチタニア担持銀ナノ粒子は安価で、常温常圧で脱硫ができます。研究成果は5月「ナノ学会第23回大会」で初めて発表し、12月にも「環太平洋国際化学会議2025」で発表する予定です。研究室に配属されてからは、村山先生や研究室のメンバーに意見を聞くことが増え、多方向での視点も取り入れて、客観的に見ることができるようになりました。

\*チタニア担持銀ナノ粒子：酸化チタンの表面に銀ナノ粒子を分散・担持(固定)させた複合ナノ素材



## 指導教員 村山 美乃 教授から

伊藤さんは、昨年立ち上がった私の研究室の1期生です。周囲への気遣いができ、大学院生になって後輩ができてからも、研究室をまとめてくれる頼りになる存在です。実験に対しても真剣に取り組んでいて、少しテーマを変更することになったときもスムーズに切り替えられました。今年は学会発表もあり成果もたくさん出てきています。

神奈川工科大学は約130もの研究室で各分野の研究に取り組んでいます。

研究室に所属する学生たちは実験や検証に粘り強く取り組み、その結果から導き出した成果を携えて国内外の学会で発表をするなど果敢に挑戦しており、その姿からは、次世代を担う“若き研究者”としての誇りと頼もしさが感じられます。

皆さん、どのような研究に組み、どのように社会に貢献したいと考えているのか、シリーズで学生の「研究する姿」をお伝えします。

次号(秋・冬号)は、自動車システム開発工学科、ロボット・メカトロニクス学科、ホームエレクトロニクス開発学科、応用バイオ科学科、看護学科、管理栄養学科、臨床工学科の研究室を紹介します。



### 仲良くなるほど親身に勉強を 教えてくれる学習支援AIの研究

ユーザーと仲良くなるほど親身に勉強を教えてくれる学習支援AIの研究をしています。目指しているのは、友達みたいに「考えるきっかけ」を与えてくれる学習支援アプリです。解答をすぐに教えるのではなく、使用回数が増える度に学習者が理解しやすい説明方法で解答するようになるなど、ユーザーが自分で考える力をつけられるようなアプローチを考えています。学部生の頃の研究では、漠然とAIの「会話」をより人間らしくしたいと思っていましたが、今回は会話の目的を学習支援に絞ることで目標が明確になるので、より深い研究ができるのではないかと期待しています。卒業研究では、研究内容や予定を自分で決めて進めることで自律性が培われました。また、研究として成立していることが求められる論文執筆では、書き上げる度に手応えを感じています。

### 指導教員 鷹野 孝典 教授から

設楽さんは、性格が明るくて積極性があります。研究でも必ず自分の考えを持っていて、ゼミでの仲間とのディスカッションを重ねて、さらに改善方法を考えていく思考力があります。特にAIを含めた研究は国際的にも最先端であり発展性があるので、アイデアの実用化も目指して、社会に還元して未来をつくっていきましょう。



設楽 楓さん  
工学研究科 情報工学専攻  
博士前期課程1年  
AIデータベースシステム研究室



坂田 祐一さん  
工学研究科 情報工学専攻  
博士後期課程1年  
モバイルネットワーク研究室

### より効率的なネットワークを実現する 次世代ネットワーク ICN通信の研究

ICN通信(情報指向ネットワーク)の研究を行っています。ICN通信はモバイル端末での問題点を解決するために作られた技術です。特徴は「自分が欲しい情報を持っているのは誰か」ということに着目している点で、周囲にいる人全員に「〇〇を持っていますか?」と問いかけて、持っている人から送ってもらうイメージです。まだ研究段階ですが、様々な応用が検討されているので、一般的な通信方法になる日も近いと感じています。

この研究に取り組んだきっかけは、先輩の代理で学会発表を行った際に他大学の教授や企業の方々から新しい視点を教えていただいたことです。研究を進める中でさらに追求したいことが見つかり博士後期課程に進学しました。将来は私自身も最先端に立ちながら、研究者の卵たちを育てて知識を伝えていきたいので、大学の教員をめざしています。



### 指導教員 塩川 茂樹 教授から

坂田さんの先行研究に対して疑問を持ちながら、結果を鵜呑みにせず自分なりに解釈しようとする姿勢は、研究者にとって欠かさない姿勢であり頼もしいことです。また明るい性格で研究室の後輩達から慕われています。博士の学位を取得するには相当な努力が必要ですが、たゆまぬ努力を続けて立派な研究者へと成長することを期待しています。



### 4人でキャラクターを動かす 協力型ゲームの研究開発

キネクト  
Kinectという人の動作を検知できるセンサーを使って、4人のユーザーが右腕、左腕、右足、左足を分担してキャラクターを動かす、協力型ゲームの研究開発をしています。6月に函館で行われた情報処理学会「デジタルコンテンツクリエイション研究会」では、プロトタイプとして2人分の動きを用いたアクションゲームを発表しました。

3年生のときには、子供たちに私たちが開発したゲームで遊んでもらい、その感想を基にゲームの「おもしろさ」に磨きをかけていきました。この経験を通して「遊ぶ側の視点」で作ることの大切さを学び、ユーザーのことを考えた開発ができるようになってきました。もちろんゲームクリエイータ特訓\*での経験も役立っています。卒業後はゲーム制作会社で入学当初から興味を持っていたスマホゲームの開発に携わる予定です。

\*ゲームクリエイータ特訓:ゲーム開発に必要な技術や考え方を総合的に身につけた人材を育成する本学独自のプログラム

### 指導教員 鈴木 浩 教授から

ゲームクリエイータ特訓を受講したり、研究室でも率先して動いてくれたりとアクティブに活動しています。6月には情報処理学会の「デジタルコンテンツクリエイション研究会」で、研究成果を発表しました。卒業までの間、たくさん研究活動をして、ぜひ学外コンテストや学会発表で成果が発表できるようにがんばってください。



菱沼 希さん  
情報学部 情報メディア学科4年  
インタラクションデザイン研究室

## 神奈川工科大学の 海外研修・ 留学プログラム

# 『オンリー・ワン』プログラムで 異文化に触れてみよう！

神奈川工科大学では語学力の向上や海外文化に触れるために協定大学でのオリジナルプログラムによる海外研修・留学プログラムを用意しています。

## 半年間の海外研修を終えて 自分の可能性が信じられるようになった



内藤 蓮 さん  
応用バイオ科学部  
応用バイオ科学科4年

「海外バイオ研修II」に参加した一番の理由は苦手な英語の克服でした。シアトルに到着した頃は、相手が何を言っているのか分からず何も伝えられなかったのですが…。通学のバスの中で繰り返し単語を覚えていった結果、会話の中で覚えた単語が分かるうれしさがモチベーションになり、3カ月目にはかなり英語でのやり取りができるようになりました。ホストマザーから英会話の上達を褒められたことは本当に良い思い出です。プログラム後半のバイオ授業の内容は日本で履修が終わってる範囲だったため、先生の英語が聞き取れなくてもテキストを読んで理解することで対応できました。なにより現地の学生と一緒に学ぶことは魅力的で、英語の言い回しなどもよく教えてもらいました。課外活動ではバレーボールサークルに参加。メンバーとは今も連絡を取り合っています。帰国後は自分に自信が持てるようになり、努力すれば苦手を得意に変えられるという、自分の可能性を信じられるようになりました。就職活動でも海外勤務があれば積極的にいきたいという希望を出しています。

### 参加プログラム：海外留学プログラム【海外バイオ研修II】

半年間、休学せずにシアトル・カレッジ(アメリカ ワシントン州 シアトル)へ留学するプログラム。最初の3カ月間はESL\*で英語を勉強し、後半の3カ月間はESLと専門分野を受講。

\*ESL:英語を母語としない留学生が英語力を補強するために履修する科目

留学先での授業の様子



## 神奈川工科大学 海外研修・留学プログラム

### ■海外異文化研修プログラム【夏期休暇期間 2週間】

マレーシア異文化研修(研修先:国立プトラ大学)  
対象:全学科

### ■海外英語研修プログラム【春期休暇期間 1ヶ月】

研修先:サウスシアトル・カレッジ(アメリカ)  
対象:全学科

### ■海外留学プログラム【3年次後期・半年間】

研修先:シアトル・カレッジ(アメリカ)  
対象:機械工学科、応用化学科、応用バイオ科学科、応用化学生物学科

### ■海外専門分野研修プログラム【春期休暇期間:1ヶ月】

- ①研修先:サウスシアトル・カレッジ(アメリカ)  
対象:機械工学科、応用化学科、応用バイオ科学科、応用化学生物学科
- ②研修先:デジベン工科大学(アメリカ) 対象:情報メディア学科
- ③研修先:バンコク大学(タイ) 対象:情報工学科
- ④研修先:チュラロンコン大学(タイ) 対象:情報工学科
- ⑤研修先:UTAR大学(マレーシア)【春期休暇期間:10日間】  
対象:情報システム学科、ロボット・メカトロニクス学科

※各プログラムの詳細は神奈川工科大学国際課にお問い合わせください。

## 国際課から



学生たちは、海外研修で英語が未熟でも乗り切れたという経験と同時に、英語に対しての力不足を感じて帰ってきます。その気持ちが英語力向上へのモチベーションにつながっていきます。また、就職活動でも、英語を必要とする職種にチャレンジできるようになるなど、海外研修での経験は、やがてグローバルなエンジニアになるための力になっていくのだと感じています。

## 「English lounge」を 活用しよう！

学生が英語に慣れ親しむことを目的として設置された「English lounge」では、月～金曜日の毎日、ネイティブスピーカーとの会話を通して楽しく英語力を磨くことができます。

会話だけでなく、英語の基礎力、コミュニケーション力を高める多彩なプログラムが用意され、多くの学生が利用しています。



# KAIT学生の キャンパスライフ



## 学生寮

個室の気楽さも学生寮の  
楽しさも味わえる  
女子学生専用の学生寮です



関向 玲奈さん

工学部電気電子情報工学科 2年

青森県から出てきて初めての一人暮らしは、親からの「学生寮が安心だから」という勧めもあり、大学の敷地内にある女子専用シェアハウス「KAIT ERIM(カイト エリム)」に入寮しました。ベッドや机などの家具が付いているので、新たに買い揃えるものはほとんどなく、すぐに新生活が始まりました。寮費は朝・夕飯の賄い付きで67,000円です。寮内にはグループで利用できる大きなリビングやキッチン、ランドリールームや自習室などもあるので、個室の気楽さと学生寮ならではの楽しさを感じながら快適な寮生活を送っています。また、今年度は寮のリーダーとして、新入生歓迎会などのイベントの企画もしています。



「KAIT ERIM」から教室まで徒歩3分ほどで到着します。  
お昼休みや空き時間には、寮の部屋に戻ることもあります。

課題提出などで専門書を探すために図書館を利用しています。  
静かで落ち着くので学内でもお気に入りの場所です。



寮の夕飯、  
人気メニューの  
カレーです!

## 自宅通学生

遠距離通学だけど  
学内バイトも部活も  
学生生活を楽しんでいます



河内 蒼矢さん

情報学部情報工学科 3年

朝、5時半に静岡の自宅を出発して大学には8時半頃に到着します。平日の朝は学内にあるブックセンター(売店)で1時間ほど、また、午後の空き時間にも「きのぼん」でアルバイトをしています。授業が終わると鉄道研究部の部活動があるため、帰宅は22時を回ることもありますが、とても充実した毎日です。静岡県から通学しているのは「情報学部」のある大学に進学したかったから。父親の職種がSEで、自分も将来は情報系の仕事に就きたいと思っています。また、今年の夏に予定されているハッカソンの出場を目指すため、学内のソフトウェア工房で準備を進めています。

ブックセンターの系列「きのぼん」でも閉店後の片付けや清掃などのアルバイトをしています。



鉄道研究部の部長を務めています。今年50周年を迎える歴史のあるクラブで、先輩との交流も盛んです。

鉄道研50周年の  
企画を皆で考えて  
います!



カイト エドテック

## KAIT EDTCが「厚木市制70周年記念特別表彰」を受彰

2月1日、厚木市文化会館で開催された「厚木市制70周年記念式典」において、「厚木市制70周年記念特別表彰【未来へつながらる一歩功労】」を受彰したKAIT EDTC。代表の根本生さん(創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科3年)に、受彰の感想や活動内容についてお聞きしました。



代表の根本さん

今回の表彰は、「未来へつながらるまちづくりに大きく寄与した」として評価されたものです。団体結成時から積み重ねてきた活動を評価されたことは、現メンバーはもちろん、これまで団体を支えてくださった先輩方の努力の結晶であると感じています。

KAIT EDTCは、小学生から高校生を対象に、ロボットを教材とした教育活動を行っています。厚木市こども科学館では、2023年と2024年の「サイエンスウインター」、5月5日に開催された「厚木子ども科学館祭」に出展しました。また、藤嶺学園藤沢中学校では定期的にライトレースロボットを使ったの授業「遊行塾」を行っています。

これからも「学ぶ側、教える側、どちらも学べる環境作り」をモットーに、今までの良い繋がりを継続するためにも、団体内の連携を高めて、メンバーそれぞれが自分自身の活動への責任感と主導性を持って取り組める環境づくりを心がけていきます。

### 2024年度の活動

- ◎静岡県富士市 発明くふう展に出展
- ◎幾徳祭にてロボット体験教室を開催
- ◎静岡県富士市ものづくり力交流フェアに出展
- ◎藤嶺学園藤沢中学校「遊行塾」を実施
- ◎厚木市こども科学館「サイエンスウインター2024」に出展
- ◎年齢層別で取り組めるロボットの開発



活動の様子



KAIT EDTCの皆さん

※同賞は、学生自主防犯ボランティア団体「KAIT BLUE」も「防犯ボランティアとして学内外を問わず防犯活動を継続し安全・安心なまちづくりの推進に尽力した」として受彰しています。

## 「KAIT Vehicle Dynamics Experience 2025」を 埼玉スタジアム2002で開催

3月28日、埼玉スタジアム2002にて「KAIT Vehicle Dynamics Experience 2025」を開催。本学が取り組んでいる研究内容をベースにした体験走行(試乗体験)やシミュレータ体験などを実施し、企業技術者の方など30名以上にご参加いただきました。準備から当日の運営までを担当した車両運動・制御研究室の齋藤覇流さん(機械システム工学専攻 博士前期課程2年)に感想をお聞きしました。

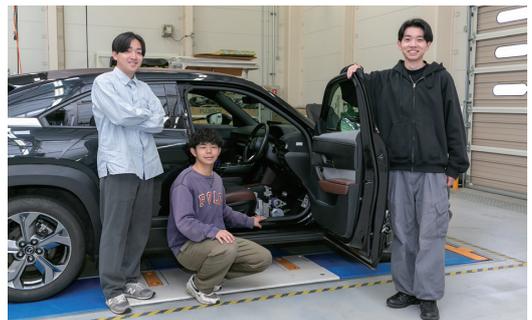
イベントの1か月前から、車両運動・制御研究室の院生・学生で分担して、試乗車への制御の実装や体験走行用のコースの検討などを開始しました。時間は限られていましたが、普段から制御を実装した車両で評価試験を行っているので、いつも通りの準備をやれば大丈夫だと考えました。当日は学生フォーミュラチーム KAIT Racingのメンバーも加わり、受付や記録、試乗車での説明やデモンストラクション、講演会などを行いました。このような大きなイベントを準備・運営したのは初めてで、難しいと感じることもありましたが、今まで培ってきた考える力や行動力、技術や経験があったからこそ、成功させることができたのだと感じています。また、私たちが取り組んでいる研究が、車両運動性能分野の技術者の方々にも関心を持っていただける内容であることを改めて実感しました。学生でありながらトップエンジニアの方々と交流する機会をいただけたことに感謝しています。

**源平さん:** 試乗体験に参加された方からの「制御の違いが実感できた」という言葉に達成感を感じました。

**間島さん:** 受付と記録係を担当しました。イベントを経験して益々研究に力を入れていきたいと感じました。



制御体験試乗の様子



左から齋藤覇流さん、源平伊吹さん(機械システム工学専攻 博士前期課程2年)、間島陽希さん(創造工学部 自動車システム開発工学科4年)

## 情報工学科 画像情報処理システム研究室が開発した 読話トレーニングアプリを App Store で公開

4月10日、App Storeにて画像情報処理システム研究室が開発したiPad専用の読話トレーニングアプリ「読話クラブ」が公開されました。開発された宮崎剛教授(情報学部情報工学科)に、その機能や開発のエピソードなどをお聞きしました。

**Q:どのようなアプリですか?**

A:相手の口の動きから発話内容を理解する力を身につけるためのトレーニングアプリです。日本語の音と口の動きの関係を覚えたり、発話の動画を見たりしながら口の動きを読み取るトレーニングができるので、難聴者やそのご家族、病気などで声による会話が難しい人と接する医療関係の方などにもお役立ていただけたらと思います。

**Q:開発でのエピソードはありますか?**

A:開発に着手したのは5年ほど前で、これまでの研究成果や画像生成AI技術を活用し、さらに、京都市中途失聴・難聴者協会や千葉県中途失聴者・難聴者協会の方などのご協力を得ながら開発しました。公開前には実際にアプリを試していただき、さまざまなご指摘・ご要望をいただきました。利用者の切り替え機能もご要望を受けて追加した機能です。

**Q:今後について教えてください。**

A:機能の追加やiPhone用のアプリの公開を考えています。また、口の動きに音をつけることで、日本語の発音を練習する教材にも「読話クラブ」の技術が使えんと思います。いろいろな方の意見を取り入れながら機能を充実させていく計画です。



宮崎 剛 教授

**【主な機能】**

- ◎日本語の音と口の動きの関係を学習
- ◎仮名(平仮名または片仮名)で入力した任意の単語の発話動画再生
- ◎生成AIを使用して口の動きの画像を生成
- ◎発話動画の読み取り力のチェック
- ◎トレーニング記録の確認
- ◎利用者(ユーザー)の切り替え

## 管理栄養学科 澤井明香准教授の研究が 浦上食品・食文化振興財団 の学術研究助成に採択

2024年10月、澤井明香准教授(健康医療科学部 管理栄養学科)の研究が、浦上食品・食文化振興財団の2024年度学術研究助成に採択されました。この助成金は食に関する研究助成で、2024年度は188件の申請がある中、22件が採択されました。私立大学からの申請で採用されたのは、わずか2件であり、澤井明香准教授の研究はそのうちの1件です。2025年5月に大阪で開催された第86回日本生理人類学会では、成果の一部を澤井明香准教授と齋藤ゆきのさん(管理栄養学科4年)が各々発表しました。



澤井 明香 准教授

**■採択された研究課題**

「高齢運転事故防止に向けた加齢の新指標としての感覚機能の評価と食品等の感覚刺激による事故軽減に向けた取り組み」

**■研究期間:2024年10月~2026年9月**



発表を行った齋藤さん

## 応用化学生物学科 岩本嗣教授の共同研究の 論文が、学術雑誌 「Biology」の表紙を飾る

岩本嗣教授(工学部 応用化学生物学科)の共同研究の論文が、学術雑誌『Biology』(Volume 14・Issue 1・January 2025)にて、表紙を飾りました。



岩本 嗣 教授

**■論文のタイトル**

「*Bacillus thuringiensis* Cry1A Insecticidal Toxins and Their Digests Do Not Stimulate Histamine Release from Cultured Rat Mast Cells」

土壤中に生息する細菌の一種、*Bacillus thuringiensis* (バチルス・チューリングゲンシス)が産生するCry1A毒素は、蛾の仲間である鱗翅目害虫の防除に広く利用されています。本研究では、このCry1A毒素が人体にアレルギー反応を引き起こす可能性について、ラットのマスト細胞を用いて詳細に調べました。Cry1A毒素そのものだけでなく、消化液で分解された毒素の分解物も、マスト細胞からのヒスタミン放出を誘発しないことを明らかにしました。この研究成果は、Cry1A毒素が従来考えられていたよりも人体への安全性が高いことを示唆するものであり、農薬の安全性評価において重要な知見となります。

## 01 電気電子工学専攻の学生が電気学会全国大会で優秀論文発表賞を受賞

3月19日に明治大学中野キャンパスで開催された「令和7年電気学会全国大会」で、保坂華穂さん（電気電子工学専攻博士前期課程2年/2025年3月当時）が「令和6年電気学会優秀論文発表賞」を受賞しました。保坂さんが「令和6年電気学会全国大会」にて発表した「ナノ秒パルスコロナ放電を用いた線対平板型電気集じん装置における粒子軌道に対する直流成分の効果」が認められての受賞です。



## 02 情報メディア学科の学生が情報処理学会第87回全国大会で学生奨励賞を受賞

3月13日から15日まで立命館大学大阪いばらきキャンパスで開催された、「情報処理学会第87回全国大会」で、下島昂己さん（情報メディア学科4年/2025年3月当時）が、学生奨励賞を受賞しました。下島さんは「学生奨励賞は数あるセッションの中から座長裁量で2人ずつ選ばれるため、とてもすごいというものではありません。しかし、自分の研究過程を知らない教授にも成果が認められたと思うとても嬉しく、やってよかったと思えました」と感想を述べました。



研究テーマ：

IoT機器を手のジェスチャーで操作する「Smart Gesture Operation」の提案  
下島昂己、朝倉大智、渡部智樹教授

## 03 KAIT広場で「ランタンナイト」を開催

3月27日、KAIT広場でランタンナイトが開催されました。当日はイベントにお申し込みいただいた方々に、KAIT TOWNでのランタン作りやKAIT広場での展示を楽しんでいただきました。イベントでは、三栖貴行教授（電気電子情報工学科）によるLED照明、北本英里子准教授（情報メディア学科）によるプロジェクションマッピングの投影も行いました。幻想的な雰囲気は、参加者はもちろん、イベントに関わった学生達も感動する素晴らしいものとなりました。



## 04 ロボット・メカトロニクスシステム専攻の大学院生が計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会で優秀講演賞を受賞

2024年12月に開催された「第25回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会(SI2024)」で、佐々木勇輝さん（ロボット・メカトロニクスシステム専攻博士前期課程2年/2025年3月当時）が、優秀講演賞を受賞しました。佐々木さんは、子供がロボット工作教室で習ったことを親に言い伝える（教える）ことで、子供の知識が定着していることを示す指標となるロボット工学基礎力の研究をしています。



研究テーマ：

「子が親へ学んだことを教えることによる知識定着率に関する研究」  
佐々木勇輝、吉留忠史准教授

## 05 ベーカリーショップ「きのぱん」がオープン

4月7日、神奈川工科大学 KAIT ホール1階に、手作りのパンを提供するベーカリーショップ「きのぱん」がオープンしました。コロッケパン、カレーパンなどの総菜系から、ドーナツ、マフィンなどのスイーツ系まで、様々なメニューがリーズナブルな価格で提供され、早くも大人気となっています。また、営業時間外でも、自動販売機にて一部のパンを購入することができます。

- 営業時間  
平日9:00～14:00
- ドリンクバー併設



## 06 地区別父母説明会を開催

5月中旬から6月初旬にかけて、地区別父母説明会を、静岡、新潟、水戸、高崎、長野、宇都宮、仙台、郡山で開催し、合計131組、198名の保護者の皆さまにご参加いただきました。当日は、教務課からは、大学での学びの概要と卒業までの道筋について、学生課からは、学生生活における注意喚起と学生支援の仕組みについて、キャリア就職課からは、現在の就職状況や就職活動のスケジュールについて説明しました。中でも就職関連の話題は関心が高く、リクルートスーツの準備時期などについての質問もありました。次回は、9月13日（土）に、大学キャンパスにて「父母説明会・個別相談会」の開催を計画しております。



## 07 大学院生対象の奨学金授与式を実施

6月19日、本学大学院博士前期課程に在籍の大学院生を対象とする奨学金制度「中部謙次郎賞」、「大岐良一賞」、「加賀信男賞」、「石上純男賞」、「木川統一郎賞」の授与式が行われました。

授与式では井上学長から、下記の成績および人物ともに優秀な学生に奨学金が授与され、さらに「このような授与式が行えたことを大変嬉しく思います。今回の賞はこれまでの皆さんの努力に対する評価であるとともに、これからの活躍にも期待を寄せています。残りの学生生活を有意義に過ごし、各自の研究に励んでください。」と激励の言葉が贈られました。また、授与式終了後には、学長室にて懇談が行われました。

### <2025年度受賞者>

「中部謙次郎賞」受賞者 成田 一穂さん(電気電子工学専攻 2年)  
 「大岐良一賞」受賞者 井口 太貴さん(応用化学・バイオサイエンス専攻 2年)  
 「加賀信男賞」受賞者 望月 遥貴さん(情報工学専攻 2年)  
 「石上純男賞」受賞者 木村 尚也さん(機械システム工学専攻 2年)  
 「木川統一郎賞」受賞者 棟近 子竜さん(ロボット・メカトロニクスシステム専攻 2年)



## 08 名誉教授称号授与式を挙行

6月18日、令和7年度名誉教授称号授与式が執り行われました。

井上哲学学長より、以下の7名の方々名誉教授の称号が授与され、永年に亘り本学の教育・研究の分野において、多大な貢献をされたことに対し感謝の言葉が贈られました。

### <名誉教授称号 授与者>

小宮 一三 名誉教授(元神奈川工科大学 学長)  
 石綿 良三 名誉教授(元基礎・教養教育センター 教授)  
 西口 磯春 名誉教授(元情報学部 情報メディア学科 教授)  
 小机 わかえ 名誉教授(元工学部 機械工学科 教授)  
 谷中 一寿 名誉教授(元情報学部 情報メディア学科 教授)  
 三枝 康男 名誉教授(元工学部 応用化学生物学科 教授)  
 岡崎 美蘭 名誉教授(元情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 教授)



## \ New Teachers / 着任の挨拶

今年度、神奈川工科大学に  
着任された先生方  
をご紹介します。



情報学部  
情報メディア学科  
特任准教授  
西宮 康治朗

西宮康治朗と申します。音響工学全般を専門としていますが、特に楽器音響に力を入れています。楽器の発音機構は、実はよく知られたピアノやギターなどでも未だに未解明な部分が多くあります。それらを物理現象として正確に把握することを目的としています。このような研究により、忠実な楽器音を奏でる電子楽器の製作や、楽器の構造の改良など、様々なメリットが生まれます。音楽は人の命を直接救うものではありませんが、人の心を癒し、奮い立たせ、人生に大きな原動力を生んでくれます。楽器や音楽を通して世の中を良い方向に導いていきたいと願い、日々研究しております。どうぞよろしくお願いたします。

◎専門：楽器音響、超音波工学、低周波騒音、感性工学  
 ◎担当授業：専門ユニットⅠ、専門ユニットⅠセミナー、卒業研究など



健康医療学部  
看護学科  
准教授 久保 典子

4月より看護学科(基礎看護学領域)に着任しました。久保典子と申します。看護は実践の科学で、基礎看護学はその土台となります。学生の皆さんには多角的な視点で看護実践を省察し、臨地実習では相手を気づかうことの大切さや、人と心を通わせる喜びを体感してほしいと願っています。研究については、「看護基礎教育における領域横断的な安全教育」をテーマに取り組んで参りました。看護職が患者さんの安全を守ることは第一義的な責務ですが、自らの健康と安全を守ることも大切にしてほしいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

◎専門：基礎看護学  
 ◎担当授業：診療の補助技術、生活援助技術Ⅰ、早期体験実習、基礎看護学実習など



健康医療学部  
看護学科  
准教授 川上 裕子

4月に看護学科に着任いたしました川上裕子と申します。これまで看護史、とくに保健師の歴史に関する研究に取り組んできました。保健師は人々の暮らしや社会の要請に応じて、役割や活動を変化させながら、地域に根ざした公衆衛生活動を担ってきました。その歩みを紐解くことで、現代の公衆衛生看護の実践に示唆を得たいと考えています。学生の皆さんには過去の実践に学び、現代の課題に応える柔軟な思考と豊かな感性を育てていただけるよう、教育・研究活動に励んでいきたいと思っております。よろしくお願いたします。

◎専門：公衆衛生看護学  
 ◎担当授業：公衆衛生看護学動論、産業・学校看護学実習、公衆衛生看護学実習など



健康医療学部  
看護学科  
講師 風間 栄子

今年度4月より看護学科に着任いたしました風間栄子です。専門は、地域・在宅看護学です。研究活動では、地域・在宅で暮らす高齢者や認知症の人が自分らしく尊厳を保ち、長期的に自立した生活が続けられる『幸齢者』看護・看護教育について関心があり、地域活動等を通して取り組んでいます。地域・在宅で暮らす方々の多様な価値観を学生さんと共有しながら、共に成長して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

◎専門：地域・在宅看護学  
 ◎担当授業：地域看護論、地域・在宅看護援助論、地域・在宅看護学実習、看護研究Ⅱ、看護統合実習、実践総合演習(OSCE)など

## 経営管理本部

## 総務課

理事・評議員の就退任(含重任)について  
(私立学校法改正に伴う改選)

【理事退任:1名】

(2025年3月31日付)

小宮 一三

【理事長就任(重任):1名】

(任期:2025年5月27日～2029年度定時評議員会終結時)

中部謙一郎

【理事就任:12名】

(任期:2025年5月27日～2029年度定時評議員会終結時)

中部謙一郎

井上 哲理

谷村 浩二

保坂 精一

尾崎 亮典

中込 寛

石田 裕昭

鈴木 隆

久保田昌彦

星野 潤

今井健一郎

久代 敏男

【評議員退任:15名】

(2025年3月31日付:2名)

小宮 一三

西口 磯春

(2025年5月27日付:13名)

中部謙一郎

谷村 浩二

保坂 精一

尾崎 亮典

中込 寛

川島 豪

納富 一宏

山門 誠

松田 康広

山本 一雄

栗林 直幸

前島 一夫

内山 洋司

【評議員就任:20名】

(任期:2025年5月27日～2029年度定時評議員会終結時)

中津原克己 (選任区分:法人職員)

塩川 茂樹 (選任区分:法人職員)

澤井 淳 (選任区分:法人職員)

梶浦 潤一 (選任区分:法人職員)

黒古 敦 (選任区分:法人職員)

新田 晃司 (選任区分:法人職員)

畑 雅博 (選任区分:卒業生)

椎名 良一 (選任区分:卒業生)

中山 裕之 (選任区分:卒業生)

秋野 裕 (選任区分:卒業生)

中部 由郎 (選任区分:学識経験者)

青山 侑 (選任区分:学識経験者)

松下 亮 (選任区分:学識経験者)

高山 稔 (選任区分:学識経験者)

中谷 修己 (選任区分:学識経験者)

高野 角司 (選任区分:学識経験者)

富澤 昌美 (選任区分:学識経験者)

野村 高男 (選任区分:学識経験者)

川口 充功 (選任区分:学識経験者)

和田 孝夫 (選任区分:学識経験者)

## 学生支援本部

## 教務課

## 今後の主な予定

授業日、補講日等の予定授業日、補講日等の予定については、次頁「学年暦」および大学HP内に掲載の年間スケジュール([https://www.kait.jp/education/2025\\_schedule.pdf](https://www.kait.jp/education/2025_schedule.pdf))をご参照願います。

【前期学事予定】

&lt;前期授業終了日&gt; 7月31日(木)

&lt;前期授業補講日&gt; 8月1日(金)～5日(火)

&lt;前期到達度確認試験等&gt;

8月6日(水)～8月7日(木)

&lt;学生夏期休暇期間&gt;

8月8日(金)～9月15日(月・祝)

※学生夏期休暇期間中に集中講義、前期到達度確認に関する追評価・再評価等を実施する科目もあります。

&lt;前期学業成績の公開&gt; 9月2日(火) 予定

※ご利用については、4月にお送りした「保護者ポータルサイトのご案内資料他」をご覧ください。IDとパスワードを紛失された場合は、教務課(kyoumu@kait.jp)までご連絡ください。

【後期学事予定】

&lt;後期ガイダンス&gt; 9月16日(火)、17日(水)

※ガイダンスの内容については、決定次第(8月8日頃を予定)KAIT Walkerにてご案内いたします。

&lt;後期科目履修変更・キャンセル期間&gt;

9月16日(火)～10月2日(木)

&lt;後期授業開始日(看護学科のみ)&gt;

9月18日(木)

&lt;後期授業開始日(学部・大学院)&gt;

9月19日(金)

※学籍異動(後期休学・退学)に関する手続きは、9月30日(火)までに完了する必要があります。お問い合わせは、教務課(kyoumu@kait.jp)までご連絡ください

## 教職教育センター

令和8年度採用公立学校教員採用試験  
(令和7年度実施)及びそれ以降の  
受験に向けて

○国の指導等を受け、採用試験の早期化が図られています。静岡県5月10日(土)、茨城県5月11日(日)、宮崎県6月15日(日)などです。

○6月16日(月)～6月27日(金):直前対策講座  
7月の1次試験合格に向けて、教職教養に関する講義を実施し、知識の整理をして本番に備えます。

○7月6日(日):関東地区の採用試験実施(茨城県を除く)

例年、神奈川県所管の受験者が一番多いです。1次試験の合格発表は7月24日(木)

○7月26日(土)・27日(日)の2日間:2次試験対策1、7月30日(水):在校生中心の2次試験対策、8月2日(土)・3日(日)の2日間:2次試験対策II

2次試験に向けて、模擬授業や面接試験等人物重視の試験対策に集中的かつ重点的に取り組めます。現役はもちろん、現場で働く既卒生も参加し、お互いに切磋琢磨します。

○7月1日(火):教員採用試験対策スターティングガイダンス(1年から3年対象)

令和8年度以降の受験に向けた対策が、ここからスタートします。

○9月1日(月)～9月12日(金):夏期集中講座(講師:東京アカデミースタッフ)

午前中の2コマは、大手予備校の講師から教職教養対策に必要な基礎を徹底的に学び、午後の2コマはグループ学習による一般教養対策を行い、本格的な受験対策を開始します。

○現3年生の個別面談

令和8年度に受験を予定している学生に対し面談を実施し、希望内容の確認と、今後の取り組みについて指導します。

## 学生課

## 第50回幾徳祭について

来る11月1日(土)、2日(日)に第50回幾徳祭(学園祭)が開催されます。学生が地域の皆様と楽しく触れ合う貴重な機会、その幾徳祭開催に向けて学生会執行部、イベント局、参加各団体の学生が準備に取り組んでおります。準備状況も含めて公式ホームページで幾徳祭の情報を公開して参りますので、是非、ご高覧ください。※第50回幾徳祭については、本学ホームページトップから7月中旬より公開予定

## 第47回後援会総会について

幾徳祭の初日、11月1日(土)に第47回後援会総会を開催いたします。在学生のご父母の皆様方におかれましては、幾徳祭に合わせてご来学、ご出席ください。なお、後援会総会の詳細につきましては、10月上旬にご案内状をお送りいたします。

「父母説明会・個別相談会」  
開催について

本年も神奈川工科大学にて「父母説明会・個別相談会」を実施いたします。8月に詳細のご案内をお送りいたします。



日 程: 9月13日(土)

場 所: 神奈川工科大学

## キャリア就職課

### 9月以降の就職活動支援

#### 【2026年卒(学部4年生・院2年生)対象】

- ※看護学科、臨床工学科を除く
- ・個別企業説明会(対面・オンライン)
- 詳細は、本学HP「KAIT Career」参照

#### 【2027年卒(学部3年生・院1年生)対象】

- ※看護学科、臨床工学科を除く
- ・9月開催:業界研究フェア(対面)  
日程:9月18日(木)13:00~17:00  
場所:レンブラントホテル厚木 3階「相模」
- ・第4回 就活セミナー[ES/履歴書/面接対策](対面)  
日程:10月11日(土)13:00~
- ・10月/11月業界・職種研究会(対面)  
日程:10月25日(土)・11月22日(土)  
13:00~17:00  
場所:レンブラントホテル厚木 3階「相模」
- ・2日間集中 面接対策実践研修[定員100名](対面)  
日程:12月6日(土)・7日(日)9:30~17:30  
場所:K2号館 3~4階 教室

#### 【2028年卒(学部2年生)対象】

- ※看護学科、臨床工学科を除く
- ・9月開催:業界研究フェア(対面)  
日程:9月18日(木)13:00~17:00  
場所:レンブラントホテル厚木 3階「相模」
- ・就活基礎動画をオンデマンド配信中。  
大学HP「KAIT Career」(学内生向けページ)からアクセスできます。

#### 【その他の就職支援イベント】

- ・大学院1年生対象 就活力アップ講座(対面)  
日程:9月27日(土)9:30~16:30
- ・看護学科対象キャリア就職支援講座(第4・5回)  
日程:11月17日(月)・21日(金)2限
- ・ふらっと相談会(ハローワーク厚木共同開催)(対面)毎月2回開催  
日程:9月17日(水)、25日(木)  
10月8日(水)、23日(木)
- ・公務員対策講座<後期講座>(対面)  
日程:9月20日(土)~12月13日(土)  
1限・2限
- ・地方就職県別セミナー(オンライン)  
日程:11月13日(木)17:00~

## 2025年度 学年暦(7月~3月)

<b>7月</b>	21日(月・祝) 海の日(通常授業日) 31日(木) 前期授業終了日
<b>8月</b>	1日(金) 補講日 4日(月) 補講日 5日(火) 補講日 6日(水) 試験日 7日(木) 試験日 8日(金)~ 学生夏期休暇期間(学部・大学院) 9月15日(月・祝) ※集中授業・研修・追評価・再評価等授業を実施することもあります。 9日(土)~18日(月) 夏期事務取扱休業期間
<b>9月</b>	2日(火) 前期成績表(ポータルサイト)公開(予定) 13日(土) 父母説明会・個別相談会(本学会場) 15日(月・祝) 敬老の日(休日) 16日(火) 後期ガイダンス 17日(水) 後期ガイダンス 16日(火)~10月2日(木) 後期科目履修変更・キャンセル期間(学部・大学院) 18日(木) 後期授業開始(看護学科のみ) 19日(金) 後期授業開始(学部・大学院) 23日(火・祝) 秋分の日(通常授業日)
<b>10月</b>	13日(月・祝) スポーツの日(通常授業日) 30日(木)~31日(金) 幾徳祭準備(休講)
<b>11月</b>	1日(土) 幾徳祭 2日(日) 幾徳祭 3日(月・祝) 文化の日・幾徳祭片付け 4日(火) 補講日 5日(水) 補講日 24日(月・振休) 振替休日(通常授業日)
<b>12月</b>	24日(水)~1月6日(火) 学生冬期休暇期間(学部・大学院) ※集中授業等を実施することもあります。 26日(金)~1月5日(月) 冬期事務取扱休業期間
<b>1月</b>	7日(水) 授業再開 12日(月・祝) 成人の日(休日) 16日(金) 休講日 17日(土) 大学入学共通テスト 18日(日) 大学入学共通テスト 19日(月) 後期授業終了日 20日(火) 補講日 21日(水) 補講日 22日(木) 試験日 23日(金) 試験日 26日(日) 予備日(補講・試験等) 27日(火) 予備日(補講・試験等) 28日(水)~3月下旬 学生春期休暇期間 ※集中授業・研修・追評価・再評価等授業を実施することもあります。
<b>2月</b>	11日(水・祝) 建国記念の日(休日) 23日(月・祝) 天皇誕生日(休日)
<b>3月</b>	初旬 後期成績表(ポータルサイト)公開(予定) 20日(金・祝) 春分の日 学位記授与式・卒業式(学部・大学院)

※授業のある祝日には、「通常授業日」と記載しております。



## 第3回リサーチデー(Research Day)を開催しました

2025年4月4日(金)、5日(土)

4月4日(金)、5日(土)、「先端の研究に会いに行こう!」をテーマに、第3回リサーチデー(Research Day)を本学キャンパスにて開催しました。4日は企業や行政をはじめ、本学の研究に興味をお持ちの方々にご来場いただき、5日は入学式を終えたばかりの新生と保護者の方にご見学いただきました。

リサーチデーの狙いは、研究成果の発信・共創のきっかけ作りです。今回は本学が取り組んでいる社会での実用化を目指した先進的な研究から、19のテーマをキャンパス内の各所で紹介し、ミニ講演、産学連携について相談できる「産学連携コーナー」も実施しました。



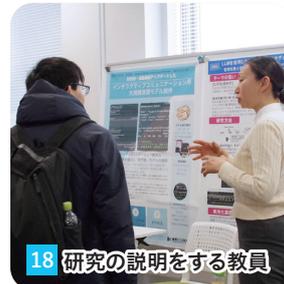
井上学長の挨拶

### オープンラボ19のテーマ

- 1:画像認識AIによる飲料容器類自動分別装置の開発
- 2:楽器の音色の定量化  
～ギターの銘器はシルキートーン～
- 3:在宅医療でQOLの向上を目指す  
～簡便な呼吸機能計測法に関する研究～ **ミニ講演**
- 4:中空スロット構造で物質を検出する高感度な光センサ
- 5:DX・デジタルツイン最前線!  
自動運転の安全性評価を仮想空間で実現!  
～仮想空間シミュレータDIVP®の開発～
- 6:AI-IoTスマートハウスが創る未来
- 7:紫外線や赤外線を使った人間に見えない情報をAI活用し、  
分析・認識・認証する技術開発
- 8:アニメーション表現による  
プロモーション映像の制作 **ミニ講演**
- 9:人生会議していますか  
～人生の最終段階にむけた意思決定支援～
- 10:食品素材に焦点を当てた大学発健康増進サプリメントの  
開発
- 11:着氷風洞の活用  
～航空機への着氷とその影響について～
- 12:不快臭を除いて食品をおいしくするナノ粒子 **ミニ講演**
- 13:情報技術を活用したeスポーツの競技力向上
- 14:高臨場感を目指した8Kライブ映像配信実験
- 15:地球温暖化を抑制するためのバイオマス資源からのプラ  
スチック原料の生産
- 16:現実と仮想が交差する:デジタルツイン・シミュレータによ  
るもっといいクルマづくり
- 17:ロボットとの共生 ～食行動認識による声掛け～
- 18:AIZone 生成AIによる個別最適化教育プロジェクト
- 19:量子コンピュータの活用に関する基礎的研究



8 ミニ講演の様子



18 研究の説明をする教員



3 研究の説明をする学生



17 研究の説明をする学生

リサーチデーの紹介動画をYouTubeで公開しています。二次元バーコードよりご覧いただけます。



本学では、今後も様々な研究を多くの方に紹介してまいります。ご来場いただいた皆様、そして、開催にあたりご協力いただいた学内外の方々に深く感謝いたします。

主催:神奈川工科大学 研究推進機構